

富田酒造

1534 年創業の富田酒造は、日本の古い造り酒屋のひとつである。代表銘柄は「七本槍（しちほんやり）」で、これは 1583 年の賤ヶ岳の戦いで、豊臣秀吉（1537-1598）（地元の武将であり、やがては日本全土の実質的な支配者となった）が強力な武将であった柴田勝家（1522-1583）を討ち取るのに貢献した 7 人の武将にちなんで名付けられた。七

本槍は、伊吹山の伏流水や有機栽培の長浜の米など、地元の食材を使って作られている。

現在の建物は 1744 年建造である。

山路酒造

江戸時代後期、山路酒造に隣接する伝馬所では、旅人たちが馬を休ませたり、乗り継いだりしていた。この歴史は、山路酒造の代表酒「北國街道」の名前に刻まれている。また、山路酒造は日本で唯一、桑の葉を原料とした甘い「桑酒」を造る蔵としても知られている。1532 年創業の山路酒造は、日本で 4 番目に古い酒蔵であると伝わる。